

WCS・飼料用米も いもち病防除の徹底を

昨年はいもち病が多発した地域があり、その地域を中心に今年も警戒を強めてください。種子消毒や育苗期いもち防除、箱処理剤を使用していれ、ば安心感が大きいですが、天候や施肥等によっては発生するので油断禁物。

いもち病は一度発生するとあつという間に広がります。広がってからは食い止めるのは至難の業。むしろ無理と頑張ってよいです。省力化低コスト化が至上命題ですが、防除しなればならないものは手間でも必ず行ってください。

WCSや飼料用米、業務用米に取り組まれる方で、育苗期防除を忘れた、箱処理剤を撒いていないという場合は、必ずオリゼメート粒剤などを散布するなど本田防除を必ず行って、地域でいもち病

おばこ稲作情報

LINE
でああなたの手元に届くwebマガジン



2021年6月
No. 8
JA秋田おばこ

本田いもち病防除薬剤

薬剤名	使用量	使用方法	使用時期	WCS
オリゼメート粒剤	3~4kg/10a	散布	葉いもち 初発の10日前~	○
コラトップ1キロ粒剤12	1~1.5kg/10a			○
コラトップ豆つぶ	250~375g/10a			○
コラトップ粒剤5	3~4kg/10a			○
ブラシン粉剤DL	3~4kg/10a		収穫7日前まで	○
ブラシフロアブル	1,000倍60~150L/10a			○
ラブサイドフロアブル	1,000~1,500倍60~150L/10a			○
トライフロアブル	1,000倍60~150L/10a			○
				収穫14日前まで

う。が広がらないようにしましよ

飼料用米の防除について（秋田県病害虫雑草防除基準より）

- ①移植水稻と同じ防除でOK。
- ②出穂以降に農薬散布を行う場合には、家畜へは粃すりをして玄米で給与すること。
- ③粃米を家畜に給与する場合は、出穂以降の農薬の散布は控えること。
- ④ただし、以下の農薬については、上記の措置を必要としない。

殺菌剤
オリゼメート粒剤、バシタック水和剤75、バシタックゾル、モンカット水和剤、モンカットファイン粉剤20DL、モンカットフロアブル、モンガリット粒剤、リンパー粒剤

殺虫剤
アブロード水和剤、アルバリン粉剤DL、アルバリン粒剤、エルサン乳剤、エルサン粉剤3DL、キラップフロアブル、キラップ粉剤DL、スタークル液剤10、スタークル粉剤DL、スタークルメイト液剤10、スタークル粒剤、トレボンEW、トレボン乳剤、トレボン粉剤DL、トレボン粒剤、バツサ粉剤30DL、MR.ジョーカーEW、MR.ジョーカー粉剤DL

なお、上記薬剤でも食用稲と異なる時期（黄熟期等）に収穫する場合は、②、③の農薬残留の提言措置を講じること。

オリゼメート粒剤
6/12~18頃散布
2~3kg/10a

う。いもち病を防ぎましょ

ご心配をおかけしましたオリゼメートは供給体制と整いましたので、当用期も安心してご使用いただけます。追加でお求めの場合も十分に在庫を準備しておりますので、規定量をしつかりと撒いて、

オリゼメート
あります